

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 弘前大学医学部附属病院におけるロボット支援下子宮全摘術と腹腔鏡下子宮全摘術の比較に関する研究

研究の目的

近年婦人科領域における低侵襲手術(MIS: Minimally invasive surgery)の発展は目覚ましく、当院でも MIS であるロボット支援下子宮全摘術(RASH)と腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)をおこなっています。今回これらの術式の周術期アウトカム(手術時間や出血量、合併症の有無など)を比較することで安全性を検証することを目的とします。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2025 年 12 月 31 日

対象となる方： 2022 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの期間に弘前大学医学部附属病院で TLH 及び RASH を行った患者

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

電子カルテにより患者情報や周術期情報を収集します。患者情報として、年齢、BMI(body mass index)、標本重量、マニピュレーター使用の有無、適応疾患として術前診断が子宮体癌で類内膜腺癌 G1 もしくは G2 で推定 A 期を悪性、良性疾患(子宮内膜異型増殖症や CIN3: cervical intraepithelial neoplasia 3 含む)を良性として評価します。また、周術期情報として、手術時間、出血量、合併症の有無、入院日数を評価します。

統計学的に RASH 群と TLH 群で手術時間に差があるのかどうかや合併症の発生率に差があるのかどうかなどを調べます。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座 水沼慎人 0172-39-5107
-------	---